

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

11

事業	生涯-01	事業名	社会教育運営事業
単年度	経年	個別事業名	美術館建設準備事業
<p>現 状</p> <p>・鎌倉ゆかりの芸術家の作品を中心とした美術館の整備が、平成元年度に市制施行50周年記念事業として採択されてからの事業だが、平成14年3月に旧野村総合研究所の土地・建物が鎌倉市に寄贈され、平成17年5月に策定された「野村総合研究所跡地土地利用基本計画」で、当地に懸案の美術館を歴史の博物館とともに整備する方向性が確認されたことから、準備作業が本格化してきている。</p>			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <p>・専門家8名からなる「(仮称)鎌倉美術館検討委員会」を設置し、5回の審議を行った。 委員謝礼の計 404,000円</p> <p>・(仮称)鎌倉美術館整備方針を策定するに当たり、実績のあるコンサルに支援業務を委託した。 支援業務委託料 3,675,000円</p> <p>・寄贈を受けた作品については、温度・湿度などの環境の整った倉庫に保管している。 保管委託料 1,401,420円</p>			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <p>・検討委員会での審議を経て、美術館の基本方針、展示、収集、教育普及、施設計画などの考え方をまとめた「(仮称)鎌倉美術館整備方針」を策定した。</p> <p>・美術工芸作品収集選定委員会の審議を経て、美術館の候補作品として、鎌倉在住の画家 五百住乙人氏より、2点の作品の寄贈を受けた。</p>			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <p>・美術館は整備だけでなく、運営していくにも多くの経費を必要とする施設であるため、市民の理解を得ながら、市民に親しまれる施設づくりをめざす必要がある。</p> <p>・本格的な検討を進めるには、学芸員の含まれている準備室の早期設置が望まれる。</p> <p>・作品の収集環境の整備を急ぐ必要がある。</p>			
<p>委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)</p> <p>・鎌倉らしい方針が良い。</p> <p>・このような施設は、指定管理者制度の導入やコストパフォーマンスのみを考えるべきではない。</p> <p>・文化には、経費がかかる。短いサイクルの中では、評価ができない。</p> <p>・成果がなくても、継続していくことが大事である。</p> <p>・鎌倉らしさを出してほしい。</p> <p>平成20年3月に定めた「(仮称)鎌倉美術館整備方針」において、鎌倉ゆかりの作品を収集・保存・展示し、鎌倉の未来を担う子どもたちが、優れた作品や豊かな自然環境に触れる中で美を感じ学び、体験することで、豊かな感性や情操を育むような場や機会の創出をめざすことなどを基本理念としている。</p> <p>また、管理運営の形態として、市の直営又は指定管理者への委託が考えられるが、美術館の事業を適切に遂行できることを前提に、利用者サービスの向上や市の財政負担の軽減を考慮した適切な管理のあり方を検討することとしている。</p>			

(仮称)鎌倉美術館整備に係る経過

平成元年	市制施行 50 周年事業として「郷土記念館(美術館)の建設」が提案される 鎌倉の生んだ芸術家の作品を展示・收藏する記念館
平成元年度～	教育文化施設建設基金として(仮称)郷土記念館・美術館建設基金の積み立てを開始
平成 4 ～ 6 年 平成 6 ～ 7 年	庁内検討会で検討 専門家を含めた基本構想検討委員会で検討 全体会 6 回、部会 6 回開催
平成 7 年 6 月	(仮称)郷土記念館・美術館基本構想を策定
平成 8 年 3 月 平成 10 年 4 月	鐺木清方記念美術館建設に着手 鐺木清方記念美術館開館
平成 12 年 1 月	生涯学習施設等再編整備計画策定 旧鈴木邸を鎌倉美術館本館建設用地とするとの方向性が示される
平成 14 年 3 月	野村総合研究所跡地が寄贈される
平成 17 年 5 月	野村総合研究所跡地土地利用基本計画が確定し、鎌倉美術館本館を当地において自然・歴史・美術の複合博物館として整備する方向性が示される
平成 18 年 3 月	複合博物館・市民活動交流館基本計画(案)策定
平成 19 年 8 月	美術館検討委員会を設置(委員 8 名、5 回開催)
平成 20 年 3 月	(仮)鎌倉美術館整備方針策定

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

12 - 1

事業	生涯 - 01	事業名	社会教育運営事業
単年度	経年	個別事業名	社会教育委員会議等
<p>現 状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育法に基づき、鎌倉市社会教育委員会議を設置し、10名の委員構成で、定例会等により必要な事項の審議をしている。 ・小中学生を対象に、「夏休み子ども写生大会」を7月に実施。大会の会場は市内の神社仏閣、名所旧跡等である。 ・年に2回の演奏会委託事業として、12月には小中学生を対象とした「ウィンターコンサート」を、3月には「かまくらこどもコンサート」を、それぞれ実施している。 			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議は、定例会を4回開催し、報告事項23件、協議事項1件を処理した。 ・「夏休み子ども写生大会」は、7月24日に鎌倉文学館で実施した。 ・「ウィンターコンサート」は、鎌倉シティプラスに演奏を委託し、鎌倉生涯学習センターで12月9日に実施した。 ・「かまくらこどもコンサート」は、鎌倉ジュニアオーケストラに演奏を委託し、一般公募で募集した「かまくらこども弦楽教室」の生徒との合同演奏会を、3月16日鎌倉芸術館で実施した。 ・新規事業として稲村ヶ崎小学校の特別教室において、「放課後子ども教室」を実施した。 			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議は、社会教育関係団体に対する補助金について審議した。その他、「(仮称)鎌倉美術館」の取組状況や生涯学習部関連の事業について報告をした。 ・「夏休み子ども写生大会」は、予想を上回る386名の参加者で出展作品数は243点あった。 ・「ウィンターコンサート」は、毎年度、会場定員を上回る参加者があったため、19年度からは事前申し込み制にし、249名の参加者があった。 ・「かまくらこどもコンサート」は、芸術館小ホールで実施し、515名の参加者があった。 ・「放課後子ども教室」は、年間83日の実施で、英語・囲碁・読み聞かせなど7つの教室を設け、登録者数は71名、延べ参加者数は613名であった。 			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウィンターコンサート」は、参加希望者が多くできるだけ希望者を受け入れるためには広い会場を確保するための予算措置が必要である。 ・「放課後子ども教室」を市内全域に拡大するためには、余裕教室等の確保、学習アドバイザーや安全管理員など地域の方の人材を発掘するとともに、人員予算の確保が必要になる。 			

委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)

・放課後子ども教室の充実が必要で、そのための人員、予算の確保を願いたい。
・授業の終了後に子どもたちが学校に残ることになるが、学校の管理上、しっかりした安全管理が大切である。

放課後子ども教室を平成19年度から実施して2年目となるが、今年度においては、PTA、地域の方たちの協力を得て、安全管理には最大限の配慮をしているところである。

・放課後子ども教室は、それを知った保護者の関心は高い。是非拡大に向けて画策頂きたい。

他地域 への拡大については、各小学校へ実現の可能性について問い合わせているところであるが、余裕教室等の確保が困難なため実現に至っていない。今後も引き続き拡大に向けての協力をお願いしていきたい。

鎌倉市放課後子ども教室について

鎌倉市教育委員会生涯学習課では、平成19年6月から鎌倉市立稲村ヶ崎小学校において放課後子ども教室を実施した。

文部科学省からの補助金を受けて、放課後の安全で健やかな居場所づくりをめざしている。平成19年度は7教室を実施し、参加した児童数は次の通りである。

各教室の指導にあたる方は、地域の住民や保護者などをお願いした。

平成19年度放課後子ども教室 参加児童数

	登録人数	実施回数	参加延べ人数	実施日
英語クラブ Oki Doki	8名	14回	76名	平日(水曜日)
えにっき教室	18名	12回	130名	平日(月曜日)
子供写真教室	6名	8回	23名	平日(水曜日)
絵本の読み聞かせ	10名	8回	47名	平日(水曜日)
稲小2グラで遊ぼう	19名	17回	188名	土曜日
くらりか科学教室	20名	3回	60名	夏休み
稲小囲碁教室	9名	21回	89名	平日(水曜日)
合計	90名	83回	613名	

夏休み子ども写生大会

子ども達に美術(絵画)創作や展示の機会を提供し、異学年・異年齢の子ども達の交流の場、かつ夏休みにおける情操教育の一環として、市内の名所・旧跡を会場に、毎年開催してきた。(昭和54年度から開催:平成19年度は29回目)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
実施日	7月22日(金)	7月24日(月)	7月24日(火)
会場	建長寺	妙本寺	鎌倉文学館
参加人数	262名	86名	386名
参加児童数	171名	59名	256名
参加保護者数	91名	27名	130名

こどものためのウィンターコンサート

市内小・中学生を対象に、吹奏楽を鑑賞する機会を与え、音楽に対する親しみを深めさせるとともに、情操教育の一助とするため、毎年演奏会を開催してきた。(平成12年度から開催:平成19年度は8回目)

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
実施日	12 月 11 日 (日)	12 月 10 日 (日)	12 月 9 日 (日)
会 場	芸術館小ホール	鎌倉生涯学習センター	鎌倉生涯学習センター
参加人数	7 2 0 名	2 8 6 名	2 4 9 名
参加児童	3 6 7 名	1 5 0 名	1 1 3 名
参加保護者	3 5 3 名	1 3 6 名	1 3 6 名
委託先	鎌倉シティプラス	鎌倉シティプラス	鎌倉シティプラス

かまくらこどもコンサート

地域の子ども達に、吹奏楽・交響楽鑑賞の機会を与え、音楽を通じて情操教育を図るとともに、市民アマチュア交響楽団及びアマチュアバンドを育成し、市民による文化活動の一層の普及・振興を図るために毎年開催してきた。

(平成 12 年度から開催：平成 19 年度は 8 回目)

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
実施日	3 月 25 日 (日)	3 月 18 日 (日)	3 月 16 日 (日)
会 場	芸術館大ホール	芸術館大ホール	芸術館小ホール
参加人数	4 6 2 名	1 2 5 1 名	5 1 5 名
参加児童	1 7 9 名	4 2 3 名	2 0 4 名
参加保護者	2 8 3 名	8 2 8 名	3 1 1 名
委託先	鎌倉ジュニアオーケストラ	鎌倉ジュニアオーケストラ	鎌倉ジュニアオーケストラ
参加者	かまくら弦楽教室(3 5 名)	かまくらキッズコーラス(3 0 名) ぞうれっしゃ市民合唱団(1 0 0 名)	かまくら弦楽教室(3 4 名)

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

13

事業	生涯 - 05	事業名	生涯学習センター管理運営事業
単年度	経年	個別事業名	生涯学習推進事業
<p>現 状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターを利用するサークルの日頃の活動成果を発表するための「生涯学習センターフェスティバル」や鎌倉ゆかりの芸術家作品展である「新春ギャラリー展」を開催している。 ・市民との協働による生涯学習の推進を図るため、市民ボランティア団体「鎌倉市生涯学習推進委員会」への生涯学習センターの講座・イベント等の事業委託や生涯学習情報誌「鎌倉萌」の編集作成委託を行っている。 ・高等教育機関との連携を図るための大学等公開講座の開催、市などが実施する事業の年間計画や人材バンク情報・サークル情報などを掲載した生涯学習ガイドブックの発行などを行っている。 			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターフェスティバルの5センターの入場者数は27,257名、新春ギャラリー展は山崎在住の書家仙場右羊氏の書展を1月4日～10日に開催し、入場者数は2,078名であった。 ・鎌倉市生涯学習推進委員会に委託し実施した講座数は119、イベント事業数は22、参加者人数は11,695名であった。 ・同委員会に委託して、「鎌倉萌」を毎月1万部発行した。 			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバルは、各種サークル活動を行う利用者の励みとなり、市民との交流の場となっている。 ・新春ギャラリー展は、市民が市内在住の著名芸術家の作品を鑑賞できる良い機会となっている。 ・鎌倉市生涯学習推進委員会は意欲ある市民のボランティア意識に支えられ、講座・イベントの企画・立案・運営を主体的に行っており、生涯学習の振興に大きな成果を上げている。 			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバルは発足当初の行政主導方式が固定化してきている。今後のあり方については、行政だけでなく利用者等との協働による事業の転換を進めることが望まれる。 ・また新春ギャラリー展も、出品候補者選定の困難さから見直しが必要である。 ・その他、生涯学習指導者登録制度(人材バンク)の活用、市民の多様で高度な学習ニーズの把握と助言等を行うための学習相談体制の強化が必要である。 			
<p>委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉の土地柄から推して、講師の人材は豊富であり受講者の水準も高いと考えられるので、講座の内容をもっとアカデミックなものに充実させてもらいたい。 市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」と協働して講座等の企画・立案・運営を行っており、市内の生涯学習指導者等を積極的に活用していく。 また、より高度な学習要望に対応するため、市内の高等教育機関との連携を図りながら事業を展開していく。 			

生涯学習推進事業資料

生涯学習推進事業の概要

新春ギャラリー展

新春ギャラリー展は、鎌倉市に在住、ゆかりのある芸術家の作品展を、新春に鎌倉生涯学習センターの地下ギャラリーで行うもので、平成19年度は山崎在住の書家仙場右羊氏の書展を開催した。入場者数は2,078名であった。

生涯学習事業

市民との協働による生涯学習の推進を図るため、市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会」に各種イベントや講座を委託し5つの学習センターで実施した。

分野別の事業数と延べ参加人数は次のとおり。

・ 情報社会セミナー	(IT講習会他)	8 講座	5 3 9 名	
・ 国際社会セミナー	(英会話他)	1 4 講座	1 , 3 8 4 名	
・ 成人セミナー	(文学講座他)	2 5 講座	1 , 5 0 9 名	
・ 青少年セミナー	(子ども囲碁教室他)	1 4 講座	1 , 7 7 1 名	
・ 市民スクール	(環境問題他)	5 8 講座	3 , 1 2 6 名	
・ 文化芸術イベント	(映画会・講演会他)	2 2 事業	3 , 3 6 6 名	
	(総計	1 1 9 講座、	2 2 事業	1 1 , 6 9 5 名)

生涯学習情報誌「鎌倉萌」編集作成

市民ボランティア団体である「鎌倉市生涯学習推進委員会 広報部会」により、市内及び近隣市で開催される民間情報も含む生涯学習関連事業を掲載した情報誌を毎月1万部(年間12万部)発行し、各生涯学習センターや公共施設などで市民に配布した。

大学等公開講座事業

鎌倉女子大学及び早見芸術学園(高等教育機関)との連携事業としてそれぞれ年1回共催事業を開催した。19年度のテーマは鎌倉女子大学公開講座が「ユネスコ世界遺産登録をめざす地域社会の課題と展望」を、早見芸術学園が「自分らしく、より自然な美しさを」を実施し、延べ886名の参加者があった。

生涯学習ガイドブック作成

市内で予定される市及び県主催の生涯学習に関する情報、生涯学習登録指導者情報、市内で活動しているサークル情報、生涯学習施設情報を掲載したガイドブックを1万部発行し、各生涯学習センターや公共施設で市民に配布した。

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

14 - 1

事業	生涯 - 12	事業名	体育施設管理運営事業
単年度	・(経年)	個別事業名	体育施設管理運営事業
<p>現 状</p> <p>・本事業は、多くの市民に広くスポーツ施設を利用してもらい、スポーツやレクリエーションを楽しんでもらうことを目的に、体育館等(鎌倉、大船、見田記念、鎌倉武道館)、鎌倉海浜公園水泳プールのスポーツ施設及び深沢多目的スポーツ広場、西御門テニスコートの管理運営に関する事業と市民を対象に実施する各種スポーツ教室等に関する事業を行っている。</p>			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <p>・上記スポーツ施設等の日常の施設管理と各種修繕等の維持管理を行うとともに利用者が利用しやすいよう、各スポーツ施設等の予約等を家庭のパソコンや携帯電話、施設にある端末機からできる予約システムを導入した。</p> <p>・また、スポーツ教室は、幼児から高齢者までを対象とした各種教室を開催した。</p> <p>・19年度の新規事業として、(北京オリンピック銀メダリストも所属している)徳洲会体操クラブに協力いただき未就学児・小学生を対象とした器械体操の教室を実施した。</p> <p>・なお、平成20年度からスポーツ施設のうち体育館等の管理に指定管理制度を導入するための準備として条例改正や指定管理者の選考等を行った。</p>			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <p>・各スポーツ施設等で延べ約49万人の利用をいただき、スポーツやレクリエーションを楽しんでもらうことができ事業の成果をあげることができた。</p>			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <p>・当事業を充実・拡大していく上での課題・問題点は、スポーツ施設の数、規模ともに不足していること、また既存施設の老朽化が進んでいることであり、早急な施設整備を計画的に実行していく必要がある。</p> <p>・そのため、平成19年度中は(スポーツ課所管の別事業である体育施設整備事業になるが)新規施設の整備に向け建設資金を積み立てるためスポーツ施設建設基金条例を制定し、平成20年度から積み立てを開始したが、今後とも着実な積み立てを行い準備していく必要がある。</p>			

委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)

・鎌倉武道館については、武道以外の競技の利用が多く見受けられる。

鎌倉武道館の利用は、柔道場、剣道場があることから武道系の利用が多いが、社交ダンスと太極拳は利用団体も多く、利用者も多い。

・スポーツ行政も事業を実施したからすぐに効果が現れるかと言うとそうではない。地道に進めてもらいたい。

当該事業だけでなくスポーツ課が所管する事業を総合的に進めることが市民のスポーツ実施率を上げ、健康で楽しくスポーツ・レクリエーションを行うことになる。当該事業では、施設の管理運営のハード面と市民がスポーツに関わるきっかけづくりをはじめ広く親しんでもらうための各種教室を開催するソフト面を持った事業であるが、今後とも利用者の声を聞き、工夫をしながら地道に進めていきたい。

・(徳洲会体操クラブの例から)事業を拡大しているが、学校体育(部活動)と今後の社会体育との関係、線引きが重要になるがどう考えているか。

部活動を含めた学校体育との関係については、本市スポーツ振興基本計画にも掲げ、取り組まなければいけないテーマだが、手をつけられていない。現在、中体連の大会など、場の提供など施設での支援をしているが、指導者の派遣などは行っていない。関連団体に各種目の専門家がいるので、これから学校とも協議していきたい。

学校現場の様々な事情があり、一方的にアプローチすることは適当でない。指導者派遣にしても良い人材があるから派遣すれば良いといったことでなく学校の実情、要請に沿ったものにしていく必要がある。そのためにも学校との話し合いを持ち、協力、連携を図ることが必要と考える。

・言うまでもなく体育は子どもの成長に重要なことであり、各種競技がより活発に活動できる環境対策が望まれる。野球、ソフトボール等は施設の少なさからさらなる拡充が望まれる。

施設整備は重点課題のひとつであり、他の事業として取り組んでいるところで、今後とも既存施設の整備と併せ進めていきたい。

・指定管理者制度については、PTA活動等に使用する際に生涯学習活動としての位置づけからも、使用の申込みや料金について配慮していく必要があると考える。

スポーツ施設の利用は基本的にはスポーツの用に供するものである。また、平成20年4月から指定管理者制度を導入したが利用方法等に変更はない。

体育施設管理運営事業 事業概要

本事業は、スポーツを望む全ての市民に広くスポーツ施設を利用してもらい、スポーツやレクリエーションを楽しんでもらうことを目的に市民等が利用する市内体育館等（鎌倉、大船、見田記念、鎌倉武道館）、鎌倉海浜公園水泳プールのスポーツ施設及び深沢多目的スポーツ広場、西御門テニスコートの管理運用に関する事業と、市民を対象にスポーツ課で実施する各種教室等に関する事業です。

なお、利用者の利便を図るためスポーツ施設を家庭のパソコンや携帯電話、施設にある端末機で予約等ができる予約システムを導入しています。

- (1) 各施設の利用状況は、表のとおりです。

平成19年度施設利用状況（本事業関連施設分）

施設名	利用者数（延べ人数）
鎌倉体育館	121,281人
大船体育館	57,094人
見田記念体育館	27,835人
鎌倉武道館	207,849人
鎌倉海浜公園水泳プール	35,442人
深沢多目的スポーツ広場	25,485人
西御門テニスコート	12,723人
計	487,709人

利用者は、約49万人で多くの市民の方の利用がありますが、平成18年度に比べると5,558人（1.1%）の減となっています。これは利用種目の違いなど利用状況による変動の範囲内と考えられます。

- (2) 体育館等を拠点に年齢や体力に応じた各種教室や幼児と高齢者を対象にした遊具運動、徳洲会体操クラブの協力のもと幼児・小学生を対象とした体操教室などを実施し、スポーツ活動の促進を図りました。
- (3) 平成20年度からスポーツ施設のうち体育館等（鎌倉、大船、見田記念、鎌倉武道館）の管理に指定管理者制度を導入するため選定委員会を設置し指定管理者を決定しました。平成20年4月から予定通り指定管理者制度を導入し指定管理者による管理を行っているところです。
- (4) スポーツ施設の不足している環境を改善するため、総合型施設整備を視野に入れたスポーツ施設建設基金の設置準備を行い、平成20年度に1億円を積み立てました。
- (5) 課題としては、市民がいつでも利用できるスポーツ施設の不足への対応と既存スポーツ施設の老朽化が進んでいることから早急な施設整備を計画的にしていく必要があります。

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

15 - 1

事業	生涯14	事業名	図書館管理運営事業
単年度	経年	個別事業名	図書館管理運営事業
<p>現 状</p> <p>・本事業は、市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上をめざすため、その調査研究に活用されることを目的として、中央図書館及び地域図書館4館では、効果的な資料の収集を図るとともに利用者のニーズに即した貸出業務やインターネット予約受付などを実施している。</p> <p>・また、児童サービスにおいては、「ブックスタート」「おはなし会」「訪問サービス」等、図書館に活動をとどめることなく地域や関連機関との連携を通じ、本に親しむ機会の拡充に努めている。</p> <p>・さらに、全日開館、夜間開館等の開館時間の拡大については、非常勤嘱託員の配置活用を行い実施に努めており、全国レベルでも開館日数の多い図書館となっている。</p>			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の諮問機関である図書館協議会の運営 ・子ども読書活動推進計画の策定 ・中央図書館多目的エレベーター設置 ・JR大船駅ブックポストの運用開始 ・開館百周年記念事業準備委員会の運営 ・オンラインデータベースの導入 ・「図書リサイクル」(不用本の市民への無償譲渡)の市内全図書館での実施 			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より市民に開かれた図書館をめざすため、図書館協議会への公募委員の募集について取組を進めた。 ・市民からのパブリックコメントを反映させた「子ども読書活動推進計画」を策定し、これからの家庭・地域・学校・関係機関と連携し、市としての読書活動への取組み姿勢を明らかにできた。 ・エレベーターの新設により、電動車椅子での利用も不自由なくできるようになり、2階以上の階の利用が促進され、高齢者やベビーカーの利用者にも便宜を図ることができた。 ・JR大船駅東口西口2箇所へのブックポスト設置により、返却の利便が図ることができた。 ・百周年記念事業実施に向け出版、イベント等を市民委員とともに検討推進することができた。 ・「日経テレコン」等のデータベースの導入により、新聞記事検索等の調査が容易となった。 ・市内全図書館での「図書リサイクル(不用本の市民への無償譲渡)」により、資源の有効活用を図ることができた。 			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では平成12年度に「図書館サービス計画」の策定を行い、様々な利用者サービスの拡大・充実に努めてきた。近年「子ども読書活動の推進」や「市民活動団体との協働事業」などの事業拡大のほか、インターネットの普及による予約・貸出業務も増加している。 ・また市民要望の多様化高度化に伴い、業務を担う職員には、より専門的な知識技術が求められている。職員(司書)の補充と、その育成による資質の向上が今後の課題である。 			

委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)

・図書館司書の配置や処遇について、配慮していただきたい。

鎌倉市の場合、図書館司書の処遇は永続性のあるポストといえる。永続性のあるポストの司書職員等は21名(司書職員19名・事務職員2名)であり、期限つき人材といえる非常勤嘱託員は38名である。

・図書館を身近に便利に利用できる施策を拡大頂きたい。

図書館では、インターネットによる図書館機能の充実として、蔵書検索等による利用者の利便性を図り、また本だけでなく雑誌や・新聞記事等多様な情報の提供に努めるなど、より使いやすい図書館を目指していく。また昨年度策定した「子ども読書活動推進計画」では、乳幼児・児童・生徒に向けた具体的な図書館サービスを実施し、家庭・地域・学校・行政機関との連携づくりの強化を図りたい。

[H19年度 図書館統計業務月報]

2008年(H20年)3月

1. 開館日数	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計
昨年度(H18)の計	338	342	340	340	340	1,700
今年度(H19)の計	330	340	340	340	340	1,690
うち夜間開館日	94	96	96	96	96	478

2. 登録者数	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計
今年度(H19)の計	41,753	13,703	20,006	24,677	17,697	117,836

3. 年間貸出冊数	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計	
昨年度(H18)の計	355,232	222,378	194,409	271,161	191,095	1,234,275	
今年度(H19)の計	353,913	212,143	196,180	283,180	195,511	1,240,927	
今年度の累計							
内訳	図書貸出累計	290,178	185,476	174,023	242,800	171,981	1,064,458
	雑誌貸出累計	15,027	10,004	7,692	11,800	8,010	52,533
	AV貸出累計	48,680	16,652	14,434	28,537	15,506	123,809
	その他累計	28	11	31	43	14	127

4. 年間利用人数	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計
昨年度(H18年度)の計	133,877	74,086	72,235	98,160	65,625	443,983
今年度(H19年度)の計	131,759	70,756	72,404	100,192	67,304	442,415

5. 視聴覚資料 / 視覚障害者資料の貸出(中央館のみ)

	16ミリフィルム	スライドフィルム	16ミリ映写機	スライド映写機	OHP	暗幕	スクリーン・コード(ドラム)他
計	64	0	46	6	5	95	47

	点字本	視覚障害者テープ	デージー
計	1	1,237	22

6. 予約受付冊数		中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	Web	携帯	計	
図書	今年度計	カウンター	14,700	8,221	7,756	11,413	6,675	130,187	7,163	186,115
		OPAC	15,043	4,956	9,143	12,682	9,426	0	0	51,250
		計	29,743	13,177	16,899	24,095	16,101	130,187	7,163	237,365
AV	今年度計	カウンター	1,357	599	404	1,331	461	17,899	489	22,540
		OPAC	2,018	913	1,036	2,179	1,069	0	0	7,215
		計	3,375	1,512	1,440	3,510	1,530	17,899	489	29,755

7. 県内相互貸借

項 目		中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計
市 貸出	計	218	0	0	0	3,878	4,096
市 借受	計	2,485	966	715	1,187	771	6,124

8. コピーサービス

項 目		中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	計
件数計		7,752	2,368	2,931	3,058	1,748	17,857
枚数計		69,059	14,066	14,198	13,382	9,507	120,212

9. レファレンス(参考業務)

項 目	中央1F	中央2F	腰越	深沢	大船	玉縄	全館
クイック 計	6,020	1,940	3,418	1,743	4,888	3,504	21,513
口頭 計	1,593	1,111	2,048	1,097	3,381	159	9,389
電話 計	0	276	1,665	757	0	30	2,728
文書 計	0	2	0	0	0	0	2

10. 行事 ブックスタート

	鎌倉生涯学習センター	深沢学習センター	大船保育園	玉縄学習センター	計
回数(先月まで)	11	11	11	11	44
今月の回数	1	1	1	1	4
今年度の回数累計	12	12	12	12	48
パック配布数(先月まで)	271	224	221	216	932
今月のパック配布数	40	28	22	25	115
今年度のパック配布数累計	311	252	243	241	1047
参加人数(先月まで)	586	486	475	472	2019
今月の参加人数	85	66	48	52	251
今年度の参加人数累計	671	552	523	524	2270

おひざにだっこのおはなし会

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	計
回数(先月まで)	10	5	6	10	5	36
今月の回数	1	1	0	1	1	4
今年度の回数累計	11	6	6	11	6	40
参加人数(先月まで)	223	90	94	235	69	711
今月の参加人数	14	18	0	17	18	67
今年度の参加人数累計	237	108	94	252	87	778

おはなし会

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	計
回数(先月まで)	19	11	11	11	5	57
今月の回数	2	1	1	1	1	6
今年度の回数累計	21	12	12	12	6	63
参加人数(先月まで)	158	73	105	98	27	461
今月の参加人数	14	3	6	29	2	54
今年度の参加人数累計	172	76	111	127	29	515

11. 館内利用者用インターネット

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	計
利用件数 一般(先月まで)	6109	937	950	1465	1509	10970
今月の利用件数 一般	581	77	95	192	183	1128
今年度の利用件数 一般	6690	1014	1045	1657	1692	12098
利用件数 児童(先月まで)	806	282	131	179	173	1571
今月の利用件数 児童	61	18	7	11	20	117
今年度の利用件数 児童	867	300	138	190	193	1688
総利用件数(先月まで)	6915	1219	1081	1644	1682	12541
今月の総利用件数	642	95	102	203	203	1245
今年度の総利用件数	7557	1314	1183	1847	1885	13786

総利用時間(分)(先月まで)	327358	50568	41339	68664	76115	564044
今月の総利用時間(分)	32482	3775	3903	8387	8995	57542
今年度の総利用時間(分)	359840	54343	45242	77051	85110	621586
今年度の平均利用時間(分)	48	41	38	42	45	

12. 中央館 館内利用者用CD-ROM オンラインデータベース

	CD-ROMデータベース	
総利用件数(先月まで)	4	21
今月の総利用件数	0	4
今年度の総利用件数	4	25

総利用時間(分)(先月まで)	65	735
今月の総利用時間(分)	0	80
今年度の総利用時間(分)	65	815
今年度の平均利用時間(分)	16	33

*10月からサービス開始

13. ホームページ

	トップページアクセス数			蔵書検索数		
	パソコンから	携帯電話から	計	パソコンから	携帯電話から	計
先月まで	198616		198616	680920	40537	721457
今月	29834		29834	63773	4694	68467
今年度の件数	228450		228450	744693	45231	789924

*トップページアクセス数は、携帯電話の統計はありません。

14. 駅ブックポスト返却冊数

	JR鎌倉駅	大船東口	大船西口	計
先月までの返却冊数	35461	25591	8946	69998
今月の返却冊数	3707	3178	1099	7984
今年度の利用冊数	39168	28769	10045	77982

鎌倉市教育委員会事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価

16

事業	生涯 - 18	事業名	永福寺跡環境整備事業
単年度	経年	個別事業名	永福寺跡環境整備事業
<p>現 状</p> <p>・平成20年度から平成24年度までを第1期大型整備事業とし現在整備を行っているが、国の財政事情から国庫補助対象事業費(国庫補助額)の内示まで市の事業費が確定しない不安定な状況の中で実施している。今後も毎年、国庫補助対象事業費(国庫補助額)が確定しない状況であるが、引き続き国と協議し、平成25年度の仮オープンを目指し平成24年度までにこの第1期大型事業を完了させたいと考えている。</p> <p>・また、整備区域内に未買収地があり、このことが国が国庫補助対象事業費(国庫補助額)を確定しない一要因であることから、引き続き地権者への買収要請を行っていきたいと考えている。</p>			
<p>平成19年度に行った事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡整備委員会の開催 ・地元町内会への住民説明会を実施 ・整備区域内の発掘調査の実施 ・三堂基壇・苑池復元工事の実施設計業務の実施 ・土砂搬出・造成工事の実施 			
<p>平成19年度に行った事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡整備委員会を3回(平成19年5月22日、7月23日、平成20年2月19日)開催し、平成20年度の整備計画について承認を得た。 ・史跡永福寺跡の復元整備の意義と工事内容の説明・理解を得るため、住民説明会を3回(平成19年7月6日、11月20日午前・午後)実施し、おおむね理解を得た。 ・復元工事に反映させるため、整備区域内で発掘調査を実施していなかった区域(316.2㎡)の発掘調査を実施した。 ・三堂基壇・苑池復元工事の実施設計業務を行った。 ・苑池部分の土砂搬出・造成工事(掘削工 2,063㎡、防塵シート工 308.4m)を行った。 			
<p>今後の課題(内部評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡永福寺跡環境整備事業は、平成9年度から平成20年度までに実施することで計画をしていたが、財政事情から事業の進捗が遅れている。平成25年度当初の仮オープンを目指し、公開・活用できるよう着実な事業の進行を図っていかねばならないと考えている。 ・引き続き国・県及び市関係部局、地元住民との調整を行い事業を行っていきたい。 			
<p>委員の方からの意見(外部評価)及び意見に対する市の考え方・対応策(にて表示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉の伝統・文化を大切に、成果を期待する。 <p>今後、事業が進むにつれ、市内だけでなく市外からも大きな関心が寄せられることも予想されるので、事業の進捗には特に留意し、着実な事業の進行に努めていかねばならないと考えている。</p>			

平和都市宣言

われわれは、
日本国憲法を貫く平和精神に基いて、
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、
全世界の人々と相協力してその実現を期する。
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、
ここに永久に平和都市であることを宣言する。
昭和33年8月10日

鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

鎌倉市教育委員会 教育総務部 教育総務課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 - 23 - 3000 内線 2392 FAX 0467 - 24 - 5569

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/>

e - m a i l : kyouiku@city.kamakura.kanagawa.jp